



<クラブ評価>

No	項目	内容
1	育成支援	日々、子どもたちが安心・安全に過ごせるよう環境を整え、基本的な習慣が身に付くよう、さらに個々の発達段階に応じた支援を行う。
2	配慮を要する子どもへの対応	その子自身の特性を踏まえながらも、特別扱いせず、他の子どもたちと上手く関わられるよう支援を行う。職員間、保護者、学校との連携を図る。
3	運営体制	利用者に安心していただけるような運営体制を整えるとともに、職員の労働環境を整備し、しつかりとした雇用体制を築く。
4	学校及び地域・保護者との連携	保護者、学校、地域との連携に努め、一貫した統一性のある支援に努める。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	衛生及び安全を確保するために日々の点検・整備に努め、集団生活ではあるが、子どもたち一人一人から目を離さないよう努める。
	訓練実施回数	10回
6	質の向上	支援員として必要な知識を習得し、さらに専門性を高めるために自己研鑽に努める。得た知識を、実際の支援にフィードバックする。
	1人当り研修参加回数	9.5回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	身体の健康増進のため、できる限り体育館や運動場での活動を取り入れ、情操を豊かにするために、本の読み聞かせを実施する。また、心の健康を増進できるよう、穏やかな環境づくりに配慮する。
	フローラルこまつ推進団体	○
	ボランティア活動実施回数	2回